

施策－3 減災、安全・安心のまちづくり

減災のまちづくりの推進

津波減災対策

道路情報提供装置等の整備

想定を超えるの津波が発生した場合に、浸水エリアとなる大阪臨海線の車両誘導対策として道路情報提供装置を12基設置します。

平成24年度：泉佐野市～岸和田市：6基

平成25年度：高石市～泉大津市：6基



津波発生看板



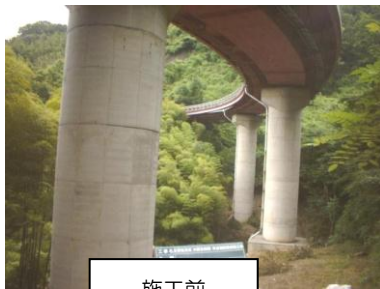
津波情報提供装置の設置（例）

インフラの防災機能強化

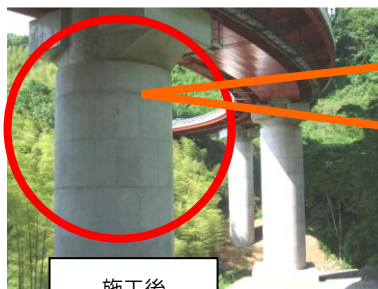
広域緊急交通路の耐震性強化

平成24年度に耐震化する主な橋梁 主)大阪臨海線 大津川大橋等

災害時においても安全で円滑な通行を確保するため、橋梁等の耐震補強工事を実施しています。



施工前



施工後

橋脚補強

橋脚の外周に鋼板を巻いたり、コンクリートを内部に充填するなどにより、丈夫にして、地震時に橋脚の倒壊を防止します

落橋防止対策

橋脚と桁をケーブルで連結し、地震時の桁落下を防止します



耐震対策（大阪モノレール）

大阪モノレールの耐震性強化

乗客の安全確保、並びに、広域緊急交通路である大阪中央環状線等の機能確保の観点から、耐震対策を実施します。

交通安全対策・バリアフリー化の推進

歩行者の安全と安心を確保する歩道整備

歩道を整備し、歩行者の安全を確保

府道岸和田港塔原線（岸和田市）



路肩のカラー化

府道春木岸和田線（岸和田市）



カラー化

歩行空間の整備

◆事業箇所

- ・府道深野南寺方大阪線
（門真市三ツ島）
- ・府道河内長野美原線
（大阪狭山市東池尻）
- ・府道枚方茨木線（枚方市宮之阪）
など

歩行者と自転車利用者の安全を確保する自転車通行環境の整備

自転車と歩行者の事故が増加している現状を踏まえ、歩行者と自転車双方の安全を確保していく必要があります。このため、府警本部や他の道路管理者と共に、「大阪府版自転車通行環境整備ガイドライン」を作成し、自転車通行環境の整備に取り組みます。



自転車道 設置例

歩道・踏切のバリアフリー化

～ お年寄りや、障がい者の方も、歩きやすい歩道へ ～

府道大阪生駒線（大東市）



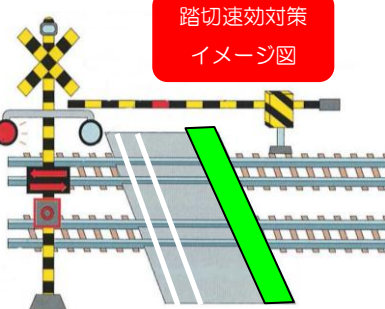
- ・車いす等が安全、円滑に移動できるよう歩道の段差、勾配を改善
- ・視覚障がい者誘導用ブロックを適切に配置

◆事業路線

- ・府道豊中摂津線(地下鉄桃山台駅周辺)
- ・国道(旧)170号(近鉄富田林駅周辺)
など

歩行者の安全と安心を確保する踏切整備

踏切速効対策
イメージ図



歩車道境界明示
歩道設置
バリアフリー対策
点字ブロック

歩車境界明示

府道山本黒谷線（八尾市）



踏切内歩道設置

府道鳥取吉見泉佐野線（泉南市）



子どもの自転車ヘルメット着用促進

各種イベントでの啓発活動



ひろメットチーム



◆実施内容

- ・各種イベントで、自転車ヘルメットの安全性を紹介し、啓発活動を実施。
- ・地域で活躍する少年クラブ等を自転車ヘルメット着用啓発チーム「ひろメットチーム」に任命し、着用普及の促進。